

IV その他について

- * カメラ用の電池はリチウムの [2CR5]、データバック用にはリチウムのコイン型電池 [CR2025] を使用します。
- * 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は液もれ・発熱・破損の原因となります。電池の十一を間違えないようご注意ください。
- * 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。治療方法についてのお問い合わせ先。
- 筑波中毒110番：0298(52)9999 24時間体制
大阪中毒110番：06(451)9999 24時間体制
- * 電池をショートさせたり、分解や充電をしたり、火の中に入れると破裂・発火の恐れがありますので絶対にしないでください。
- * 海外旅行や寒冷地での撮影や写真をたくさん撮る予定のあるときは、予備電池を用意しておくと安心です。

その他について

- * 低温では、一時的に電池の性能が低下して容量(能力)不足になることがありますので、できるだけ新品の電池を使うか、もう一つの電池を用意して交互に保温しながらお使いください。
- * カメラパックなどに入れるとき、シャッターボタンが押されると電池が消耗します。電源スイッチを切っておくと安全です。
- * 内蔵ストロボを連続して使うと、カメラ用の電池が多少温かくなる場合がありますが、これは電池の特性で異常ではありません。

撮影可能フィルム本数およびバルブ時間

一般撮影	約80本
ストロボ撮影(使用率50%)	約25本
ストロボ撮影(使用率100%)	約14本
バルブ露出時間	約6時間

新品のリチウム電池 [2CR5] で、当社試験条件による。(24枚撮りフィルム、常温)

- * 撮影可能フィルム本数は、使用条件によって変わりますのでご注意ください。

94

2) 取り扱い上の注意

カメラは精密機械です。取り扱いには充分ご注意ください。

保管上の注意

- * 高温多湿の所へ保管したり、長時間放置することは避けてください。特に車の中は高温になることがありますのでご注意ください。
- * カメラは、防虫剤入りのタンスや薬品を扱う実験室を避けてください。また、カビ防止のためケースから出して風通しの良い所に保管してください。

お手入れ上の注意

- * レンズやファインダー窓のホコリはプロワーで吹き飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。
- * 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- * ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入ると、故障の原因になりますからご注意ください。保証期間中でも有料修理になる場合があります。雨や水滴などが付いたときは、良く拭いて乾かしてください。

* シャッター幕やミラーには、手を触れないでください。

- * カメラ内部には、高電圧部があります。危険ですから決して分解しないでください。
- * 一般に、電気系のトラブルは接点部の汚れやゴミが原因になる場合が多いものです。もし、電気系の不具合と思われる現象が出たときは、電池の接点や各部の接点に手油などの汚れ、塩分や特殊ガスなどによる腐食、あるいはゴミなどが付いていないかチェックしてみてください。

撮影時の注意

- * 落としたり、固いものにぶつけないようにしてください。もしも強いショックや圧力を与えた場合は点検を受けてください。
- * 寒い外から急に暖かい部屋へ持ち込むと(または逆の場合も)、カメラの内外に水滴を生じます。このような環境では、カメラをバッグやビニール袋に入れて、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから、取り出してください。

その他について

* サービスサイズのカラープリントでは画面周辺でフィルムに写っていたものが切られてしまうことがあります。構図を決めるときに少し余裕を取っておくと安心です。

* マクロレンズや望遠レンズを使用したときは、ファインダーの上部がミラー切れによって暗くなることがあります、撮影した写真には影響ありません。

その他の注意事項

- * カメラの使用温度範囲は50°C～-10°Cです。
- * 水没品は修理不可能の場合が多くなります。当社のサービス窓口にご相談ください。
- * 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検をお勧めします。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には、点検や試し撮りをされるようにしてください。

L C D (液晶)用バックアップ回路について
撮影途中のフィルムがカメラに入っているとき、電池交換のために電池を抜いても、撮影枚数とフィルム感度はカメラに記憶されています。

L C D (液晶)表示について

- * 約60°Cの高温では液晶表示が黒くなることがあります、常温に戻れば正常になります。
- * 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなったり、消えることがあります、これは液晶の性質によるもので、常温に戻れば正常になります。

96

3) こんなときは?

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください

症 状	原 因	処 置	参 照ページ
シャッターが切れない	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。	15ページ
	バッテリー警告  が出ている。	電池を交換してください。	10ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	10ページ
表示パネルに表示が出ない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。	15ページ
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	10ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	10ページ
	電池が完全に消耗している。	電池を交換してください。	10ページ
ピントが合わない。	ピントを合わせたい物（被写体）にAFフレーム  が合っていない。	被写体をAFフレーム  に入れて撮影してください。	30ページ
	被写体に近づきすぎている。	被写体から離れてください。	30ページ
	フォーカスマードレバーが MANUAL になっている。	フォーカスマードレバーを SINGLE か SERVO にしてください。	29ページ
	オートフォーカスの苦手な被写体。	フォーカスロックを使うか、マット部分でのピント合わせをご利用ください。	32ページ 38ページ
ファインダー内の  が点滅する。	撮影する距離が近すぎたり、オートフォーカスの苦手な被写体などのためピント合わせができない。	フォーカスロックを使うか、マット部分でのピント合わせをご利用ください。	32ページ 38ページ
内蔵ストロボが充電しない。	電池が消耗している。	電池を交換してください。	10ページ
	フォーカスマードレバーが SERVO でシャッターボタンを押している。	シャッターボタンから指を離してください。	72ページ
フォーカスロックができない。	フォーカスマードレバーが SERVO になっている。	フォーカスマードレバーを SINGLE にする。	29ページ

症 状	原 因	処 置	参 照 ページ
多重露出撮影ができない。	電源スイッチがグリーンポジション [■] になっている。	電源スイッチを [ON] にする。	15ページ
オートブラケッティングができない。	電源スイッチがグリーンポジション [■] になっている。	電源スイッチを [ON] にする。	15ページ
ハイバープログラム自動露出にならない	電源スイッチがグリーンポジション [■] になっている。	電源スイッチを [ON] にする。	15ページ
ハイバーマニュアルにならない。	電源スイッチがグリーンポジション [■] になっている。	電源スイッチを [ON] にする。	15ページ
露出補正がセットできない。	電源スイッチがグリーンポジション [■] になっている。	電源スイッチを [ON] にする。	15ページ
ズームクリップモードにセットできない。	レンズがマニュアルズームになっている。 レンズのオートズームスイッチが [P] になっている。	レンズのズームリングを前側に出して [POWER ZOOM] にする。 レンズのオートズームスイッチを [A] にする。	65ページ
パワーズームが動かない。	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前側に出して [POWER ZOOM] にする。	26ページ
露光間ズームにセットできない。	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前側に出して [POWER ZOOM] にする。	65ページ
露光間ズームが作動しない。	焦点距離が最もテレ側(数字の大きい方)になっている。	焦点距離をワイド側(数字の小さい方)にする。	69ページ

静電気などの影響により、希にカメラが正しい作動をしなくなることがあります。このような場合には、一旦電池を入れ直してください。また、ミラーが上がったままになった場合は、電池を入れ直してから電源スイッチを ON にし、シャッターボタンを押し込んだまま電源スイッチを OFF にすると、ミラーが下がります。これらを行ない、カメラが正常に作動すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

4) 主な仕様

型式	TTLストロボ内蔵 TTL AE・AF 35mm一眼レフカメラ
画面サイズ	24×36mm
使用フィルム	35mmフィルム(J135パトローネ入り) 35mm DXフィルム=ISO25~5000 DXでないフィルムはISO 6~6400
露出モード	ハイバープログラム自動露出、プログラム自動露出、絞り優先自動露出、ハイバーマニュアル露出、バルブ
シャッター	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター オートシャッター=1/8000秒~30秒(無段階)、マニュアル シャッター=1/8000秒~30秒、バルブ、電磁レリーズ、電源スイッチ切りでシャッターロック
レンズマウント	ペンタックスバヨネットKAF2マウント(AFカプラ、レンズ情報接点、パワーズーム用電源ピン付きKマウント)
使用レンズ	KAF2、KAFマウントレンズ KA、Kマウントレンズ(AFアダプター使用でAF可能)
オートフォーカス機構	TTL位相差検出式、オートフォーカス作動輝度範囲EV-1~18(ISO100)(F1.4レンズ付き)、フォーカスロック可能、フォーカスモード=[SINGLE]、[SERVO](動体予測可)、[MANUAL]、AFスポットビーム有
パワーズーム	F Aズームレンズとの組み合わせにより、3速パワーズーム・ズームクリップ・露光間ズームが使用可能
ファインダー	ペンタプリズムファインダー、交換式アスフェリックマイクロマットフォーカシングスクリーン、視野率92%、倍率0.8倍(50mm・∞)、視度調節式-2.5~+1.5D
ファインダー内表示	フォーカス表示(FI=フォーカスインジケーション) [●]点灯=合焦表示、[○]点滅=合焦不能表示、シャッター速度=8000~30秒表示、絞り=1.2~90表示、[■]点灯=外付けストロボ充電完了表示、[■]点灯=内蔵ストロボ充電完了表示 [■]点滅=ストロボお勧めまたは不適切レンズ警告表示、[●]=ハイバーマニュアル時の露出表示、[■]=露出補正表示、[*]=メモリーロック表示、[●]=スポット測光表示
LCDパネル表示	HvP=ハイバープログラム自動露出表示、[P]=プログラム自動露出表示、[A]=絞り優先自動露出表示、 HvM=ハイバーマニュアル露出表示、[bu]=バルブ表示、[●]=ズームクリップ表示、[■]=露光間ズーム表示、シャッター速度=8000~30秒表示、絞りF値=1.2~90、フィルム感度=6~6400、ISO表示、バルブ露出時間=1秒~59秒(1S~59S)・1分~59分(1m~59m)・1時間~24時間(1h~24h)、ブラケッティング・露出補正の補正值=-4~-+4、多重露出回数=2~9、バーグラフ=露出補正值 オートブラケッティング補正值、[●-●]=パトローネ・フィルム行走マーク、[●]=電池消耗表示、フィルムカウンター=0~99、[●]=内蔵ストロボ充電完了表示、[■]点滅=ストロボお勧め表示、不適切レンズ警告表示、[●]=スポット測光表示、[■]=ブザー表示、[●]=1コマ撮影表示、[■]=連続撮影表示、[●]=セルフタイマー表示、[■]=オートブラケッティング表示、[■]=多重露出表示、[■]=Tvダイレクトダイヤル表示、[●]=Avダイレクトダイヤル表示、[T v]=Tv表示、[Av]=Av表示、LCD照明あり(約10秒間照明) 電子制御式、始動はシャッターボタン、作動時間12秒(赤ランプ点滅、音、減算表示)、作動後解除可能 セルフタイマー ミラー

プレビュー	絞り A 位置以外で可能
フィルム入れ	オートローディング、裏ぶた閉じにより 1 枚目まで自動巻き上げ、裏ぶたにフィルム情報窓付
巻き上げ・巻き戻し	内蔵モーターによる自動巻き上げ・巻き戻し式、1 コマ撮影・連続撮影(約 3 コマ/秒)、フィルム終了時自動巻き戻し、フィルム走行・巻き戻し完了を LCD 表示、巻き戻し時間は 24 枚撮りで約 10 秒。途中巻き戻し可。
露出計・測光範囲	TTL 開放 8 分割測光、測光範囲 50mm F1.4 ISO100 E V 0 ~ 20、スポット測光可
露出補正	± 4 EV (0.5 EV ごと設定可能) - 3 ~ + 3 EV 、0.5 EV ステップバーグラフ表示有
オートブラケッティング	適正・アンダー・オーバーの 3 コマ連続段階露出が可能(± 0.5 EV ~ ± 4 EV の範囲) 露出補正併用可
メモリーロック	ボタン式(タイマー式 10 秒) シャッターボタン半押しで継続
ストロボ	並列制御 TTL ストロボ内蔵、ガイドナンバー 14 (ISO100/m) 35mm レンズをカバー、同調速度 1/250 秒以下、日中シンクロ、低速シンクロ、光量比制御可能 ISO 連動範囲 = 25 ~ 400
シンクロ	ホットシャュー (X 接点専用ストロボ接点付き) 専用ストロボ連動 ISO 連動範囲 = 25 ~ 800
電源	6 V リチウムパック電池 [2CR5] 1 個
電池消耗警告	バッテリーマーク [■] 点灯(点滅時シャッターロック、ファインダー内表示は消灯)
裏ぶた	交換可能
大きさ・質量 [重さ]	152.0mm(幅) × 95.5mm(高) × 74.0mm(厚) 650 g (ボディーのみ 電池別)
付属品	ホットシューカバー FD、レリーズソケットキャップ FD、カメラストラップ FD、アイカップ FD、ファインダーキャップ

クォーツデード仕様	
データ機器	クォーツ制御、液晶表示式、デジタル時計、オートカレンダー(西暦 2019 年まで、閏年は自動修正)
データの写し込み方法	7 セグメント 6 桁 LCD、フィルム背面より写し込み
データ表示	データ表示窓に LCD 表示、表示写し込み時 [■] が 2 ~ 3 秒間点滅
データの種類	①年・月・日、②日・時・分、③[---] (データ写し込み無し)、④月・日・年、⑤日・月・年 年 = 87 ~ 19 (1987 ~ 2019 年)、月 = 1 ~ 12、日 = 1 ~ 31、時 = 0 ~ 23、分 = 00 ~ 59
使用可能フィルム感度	ISO25 ~ 1600 (感度自動セッタ)
データ電源	C R 2025 (リチウム電池)
発光回数	約 5000 回

100

お問い合わせは次の各サービス窓口へ

■ 営業時間 :

- ベンタックスフォーラム(新宿)
 - 午前 10 時 30 分 ~ 午後 6 時 30 分
(原則として年末年始を除き年中無休)
- ベンタックスフォーラム・大阪
 - 午前 10 時 ~ 午後 6 時(日・祝日休業)
- 各サービスセンター
ベンタックスファミリー



ベンタックスフォーラム
(ショールーム・写真展・修理受付)
☎ 03(3348)2941㈹
〒163-04
東京都新宿区西新宿 2 丁目 1 番 1 号
新宿三井ビル 1 階(私書箱 240 号)



東京サービスセンター
☎ 03(3571)5621㈹
〒104
東京都中央区銀座西 8 丁目 10 番地
(土橋交差点交番並び)



札幌サービスセンター
☎ 011(612)3231㈹
〒060
札幌市中央区
北 10 条西 18 丁目 36 番地
ベンタックス札幌ビル



仙台サービスセンター

☎ 022(261)5681㈹
〒980
仙台市青葉区中央 2 丁目 2 番 10 号
仙都会館 4 階



新潟サービスセンター

☎ 025(224)8391㈹
〒951
新潟市本町通七番町 1153 番地
新潟本町通ビル



横浜サービスセンター

☎ 045(681)8771㈹
〒231
横浜市中区不老町 1 丁目 6 番 9 号
横浜エフセレント・V ビル 3 階



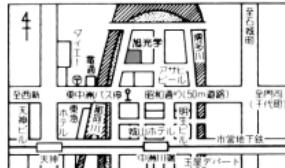
静岡サービスセンター
☎ 054(255)6308㈹
〒420
静岡市伝馬町 24 番 2 号
住友建設ビル 5 隅



名古屋サービスセンター

☎ 052(962)5331代
〒461

名古屋市東区泉1丁目19番8号



福岡サービスセンター

☎ 092(281)6868代
〒810

福岡市博多区中洲中島町3番8号



金沢サービスセンター

☎ 0762(22)0501代
〒920

金沢市尾張町2丁目8番23号
太陽生命ビル6階



お客様相談室

☎ 03(3572)6479
〒104

東京都中央区銀座西8丁目10番地
(土橋交差点交番並び)



大阪サービスセンター

☎ 06(271)7996代 (修理受付)
〒542

大阪市中央区南船場1丁目17番9号
ペンタックスフォーラム・大阪
(ショールーム・写真展)
☎ 06(271)3960



ペンタックスファミリー(写真クラブ)

☎ 03(3401)2187
〒106

東京都港区西麻布3丁目24番20号
交通安全教育センター3階



広島サービスセンター

☎ 082(248)4321代
〒730

広島市中区大手町3丁目7番2号
大東京火災広島ビル8階

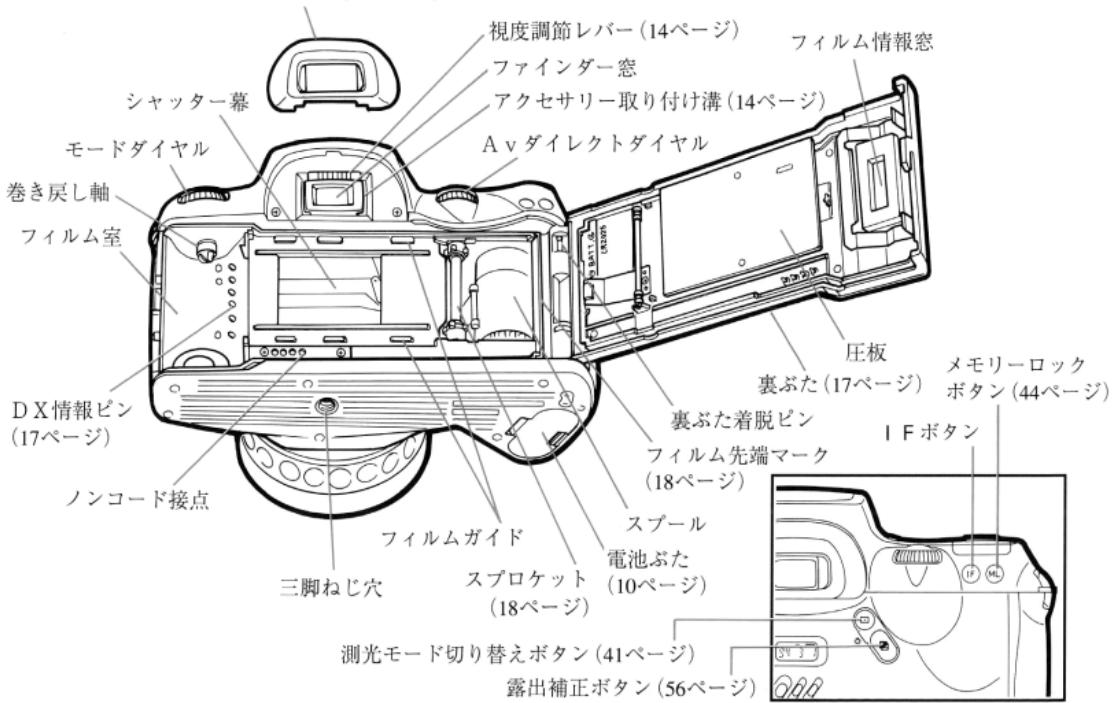
ペンタックスファミリーのご案内

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブです。年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理料金の会員割引など様々な特典があります。

お申し込み・お問い合わせは上記ペンタックスファミリー事務局まで。

各部の名称②

アイカップFD(14ページ)



● 旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリーが展示され、手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽に立ち寄りください。

● 他社製品（レンズ、アクセサリー等）との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。

- 修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。郵送の場合は、カメラの化粧箱などをを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと包装し、書留小包便でお送りください。なお、不良見本のフィルムやプリント、また、故障内容は正確にメモして添付していただけないと原因分析に役立ちます。
- 保証期間中（ご購入後1年間）は保証書（販売店印、および購入年月日が記入されているもの）をご提示ください。保証書がないと、保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用は、お客様にご負担願います。

3. 保証期間以後の修理は原則として有料です。
なお運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

4. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後、10年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても、修理可能の場合もありますから、当社の各サービス窓口にお問い合わせください。

5. 外国旅行をされる場合、各サービス窓口ではお手持ちの保証書と交換に、国際保証書を発行いたします。（保証期間中のみ有効）なお、特定の旅行先でのサービス窓口の住所については、お問い合わせください。



旭光学工業株式会社

〒174 東京都板橋区前野町2丁目36番9号

ペンタックス販売株式会社

〒100 東京都千代田区永田町1丁目11番1号